

# 上尾歴史散歩

240 上尾の古い地名をこう

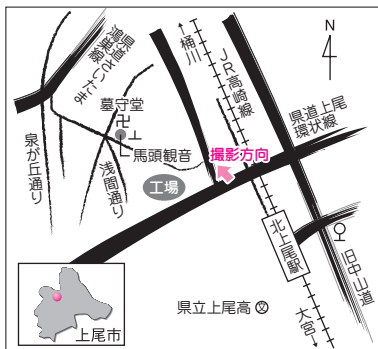
## ■松山道をたどり井戸木地区を歩く ～井戸木～

「ぐるっとくん」を「北上尾駅入口」で下車し、線路沿いに百五十メートルも北上すると、県道上尾環状線となる。左折して百メートルほど歩くと、右手に北方に延びるやや広い道がある。右折し五十メートルも北上し、今度は左手の細い道路を曲がると、大工場の敷地に沿った道が北西方向に延びている。この道路は桶川市町谷地域を縦断し、上尾市泉台三丁目の県道交差点につながる道とみられる。現在区画整理され新住宅地にもなっている。古い道路は各所で分断され大変分りにくくなっている。明治初年資料の町谷・井戸木村の項に「松山道」と記されているのが、この断続北西に延びる道路とみられる。また明治初年地図でも、中山道久保村地先から井戸木村北西に達する道が記されている（『武蔵国郡村誌』、『迅速測図』）。



工場の敷地に沿って延びる古い道路の入り口（中央左）と交差する市道

一体となる地域を構成していたとみられる。またこの四カ村の大部分は山林が多いが、山林の大部分は、近世初期は入会地である。入会地の利用権は近村が持つが、遠方の柏座村などが入り会いの権限を持つている例も見られる。これらの入会地は明治初期までに分割されているが、今でも遠方地域の地番が付されたりして、かつての所有村の名残をとどめている（『新編武蔵風土記稿』、『前掲書』）。



工場沿いの道を三百五十メートルも歩き、それより桶川市朝日三丁目を横切り、断続しているが北西方向に歩く。約一キロメートルも歩くと、井戸木一丁目の墓守堂（はか守堂）を見ることがになる。ここには多くの石仏があるが、天保七（一八三六）年建立の馬頭観音塔が注目される。背面に「石戸河岸石工吉蔵」と刻まれており、これは河岸場に石工が多く住んでいたことの例証である。そして「石戸河岸」（北本市）と井戸木村が結び付いていることは、どうやら「松山道」の所在と関係しているともみられる（『上尾市史第九巻』）。

（元埼玉県立博物館長・黒須茂図）。

### 市の人口・世帯

（平成23年2月1日現在）

22万7067人

男／11万3529人

女／11万3538人

※前月より39人減。

9万2232世帯



○に入る文字や数字を当ててください。

3月1日(火)からJR上尾・北上尾駅  
周辺は終日○○になります。

(ヒントは6ページ)

【賞品】 正解者の中から抽選で5人に、粗品を差し上げます。

【応募方法】 はがきかメールにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、『広報あげお』の感想を記入して、3月22日(火)まで(必着)に上尾市広報課「わくわくクイズ係」へ。

あて先：〒362-8501本町3-1-1  
メールアドレス：s55000@city.ageo.lg.jp

【発表】 賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。 ※正解は4月号のこのコーナーで。前号の答えは「総合計画」でした。ご応募ありがとうございました(応募者43人)。

◆「広報あげお」は、各支所・出張所、JR上尾駅・北上尾駅のほか市内の各公共施設、金融機関などに置いてあり、自由に持ち帰れます。  
◆環境保全のため、市内の公共施設へのお出掛けは市内循環バス「ぐるっとくん」をご利用ください。



本紙は、再生紙を使用しております。